

*PKM*ソリューション

SOAで実現する目的志向型のコミュニケーション

2008年11月18日



日本総研ソリューションズ
JRI Solutions, Limited

<http://www.jri-sol.co.jp/>

1. 企業における情報活用とは？

2. J-PKM とSOAで実現する 部門間コミュニケーション

3. Why Cosminexus？



組立製造業の設計部門において、情報共有・活用と課題管理の強化によって、設計品質の向上と設計手戻りの削減を目指す

2002年 「開発プロセス革新プロジェクト」コンサルティング

家電メーカー

2003年 「J-PKM Ver1.0」開発・販売開始

「J-PKM Ver1.0」試験導入

計測器メーカー

「J-PKM Ver2.0」開発・拡販に着手

「ナレッジ活動導入プロジェクト」コンサルティング

自動車部品メーカー

2004年 「J-PKM Ver2.5」開発(バージョンアップ)

同上

2005年 「生産性2倍化プロジェクト」コンサルティング

社内製造設備

2006年 「J-PKM Ver3.0」開発(バージョンアップ)

同上

2007年 設計部門から製造部門・品質部門への展開を企画

複数社から依頼

2008年 SOAへの取り組みに着手(日立製作所殿と協業)

「J-PKM Ver3.3」開発中(SOA対応)

**その他の
導入実績**

通信機器

AV機器

プラント機器

物流輸送機器

工作機械

など

業務の遂行には様々な情報が必要

J-PKMの開発も様々な情報の蓄積の上に成り立っている



組立製造業でのモノづくりでは？・・・無形から有形を生み出す

企画・営業

意匠・デザイン

物流 包装

機能・性能

開発・設計

機構・構造

寿命・品質

品質保証

メンテナンス

環境

サービス

加工・組立

資材・購買

生産技術・製造



モノづくりに必要な情報を持つ部門が多岐に渡る

モノづくりに必要な情報の保管・活用の方法

研究所



研究データ

企画・営業



顧客ニーズ

開発・設計



**設計課題
指摘事項**

部門毎にバラバラに保管され、必要な時にやり取りされる



クレーム

品質・サービス



製造トラブル

工場

一般的な企業における情報共有・活用のIT化の現状

「保管」する手段

ファイルサーバー



グループウェア

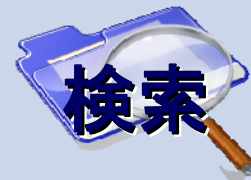


文書管理ソフト



「伝達」する手段

検索



メール送信



配布



- 絶対に必要なものしか探さなくなる。
- 重要だけど必要でないものは使われなくなる。

- 目的の情報がなかなか見つからない。
- 欲しい情報が欲しいときにすぐ手に入らない。

目的なく集められた情報は探せないため“ゴミの山”となる

情報が“使われる“ために必要なことは？

ファイルサーバー・電子メール・グループウェアの弱点

「保管」や「伝達」するための手段だけが提供されている
情報の使い方は規定されておらずユーザーの自由

どんな情報でも「保管」できる

「伝達」するための高度な機能

業務での使い方はどこにも
記載されていない

提供される『機能』はどんな部門でも使えるが
保管される“情報”は誰にも使われない

何のための情報を使うのか？

業務で情報を使うためにはこの目的を決めることが大切。

“品質”をキーワードに、
「記録」「保管」「伝達」の手段と共に、
情報の“使い方”を一緒に提供するツール
それが『**J-PKM**』です。

J-PKMがお応えする業務目的(例)

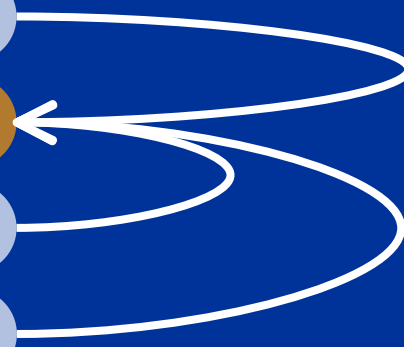
企画・営業
開発・設計
工場
品質・サービス

顧客ニーズのフィードバック

設計手戻りの削減

製造トラブルの再発防止

クレーム対応の強化



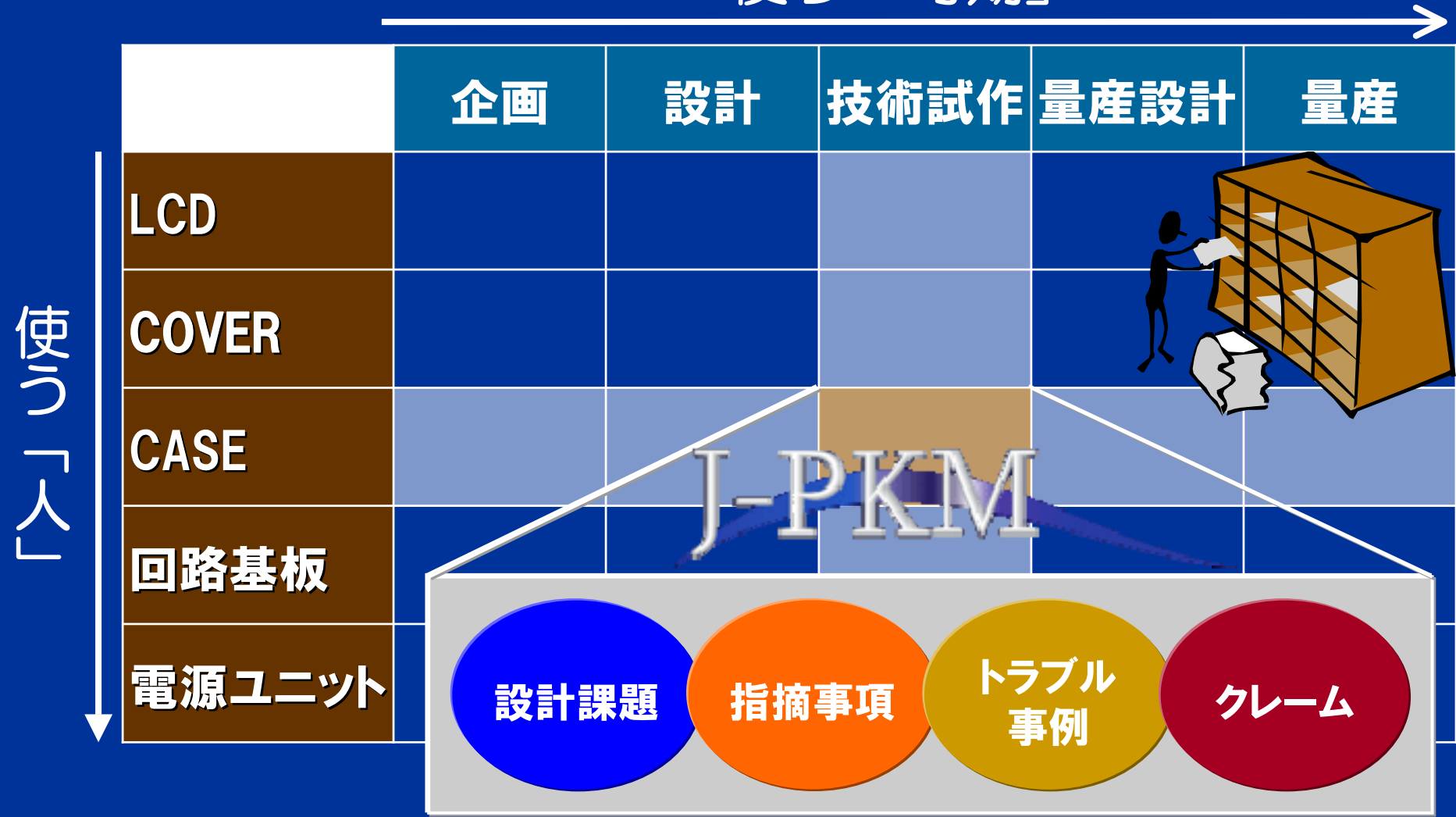
1. 企業における情報活用とは？

2. J-PKM とSOAで実現する
部門間コミュニケーション

3. Why Cosminexus？

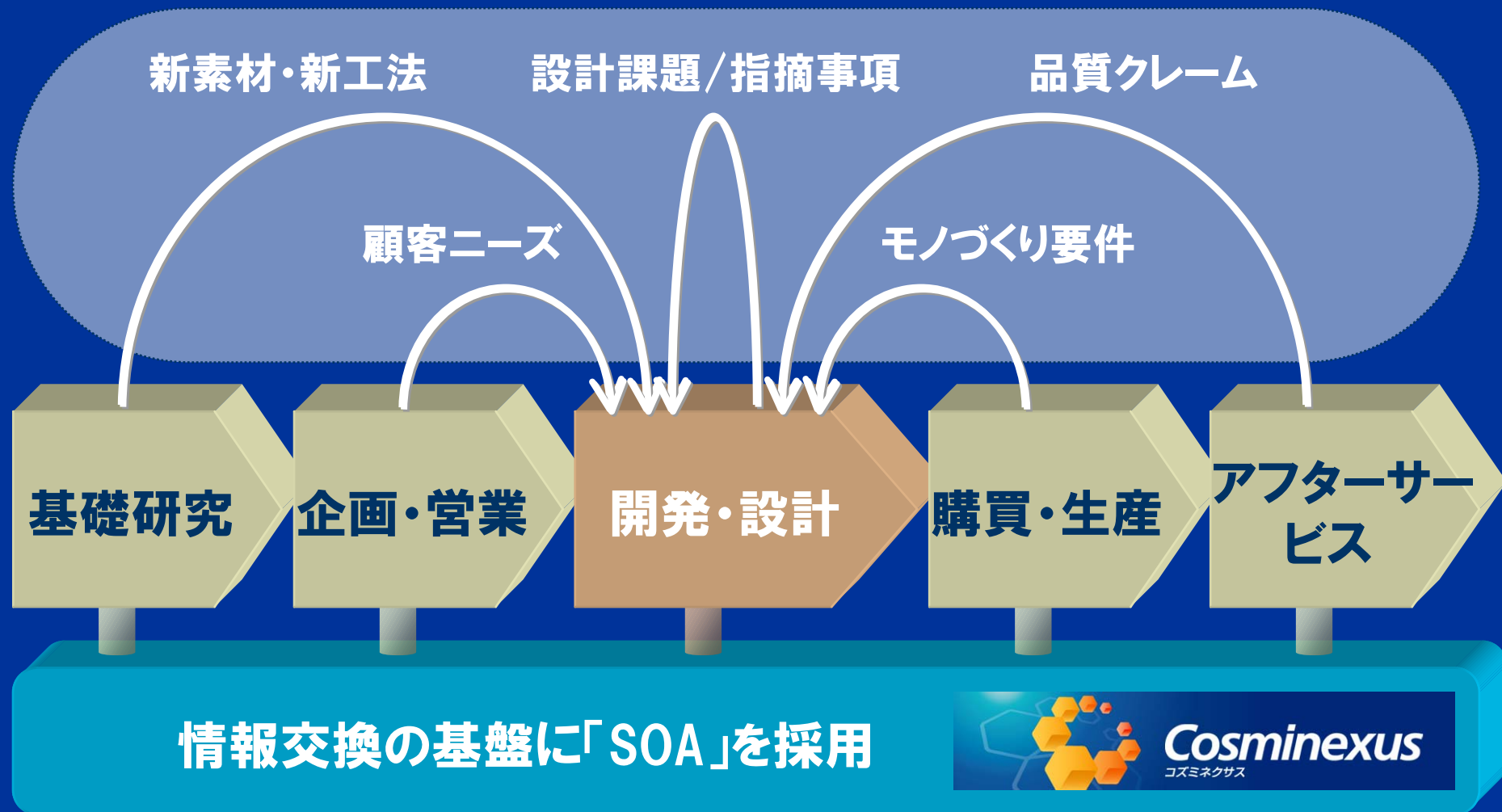
集めた情報を使えるようにしましょう！

使う「時期」



SOA = *Cosminexus* の役割

様々な部門の情報を設計部門に集めよう！



その先にあるもの・・・“インシデント・チェーン”(当社造語)



SIの保守・運用業務のインシデント管理にも使える！

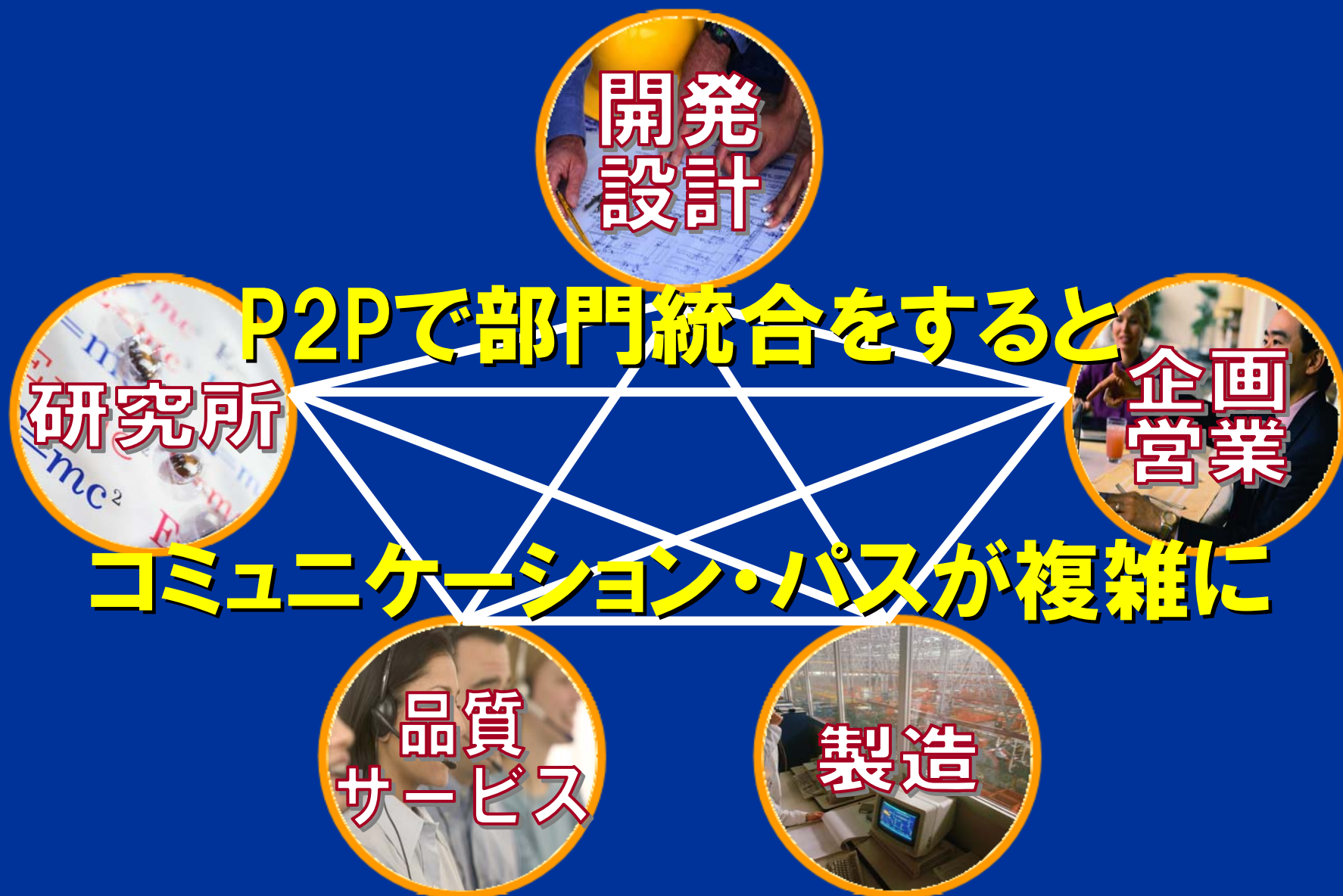
日本総研ソリューションズにてトライアル中



1. 企業における情報活用とは？

**2. J-PKM とSOAで実現する
部門間コミュニケーション**

3. Why Cosminexus ?



研究所

開発
設計

企画
営業

SOAならI/Fだけを作るだけ

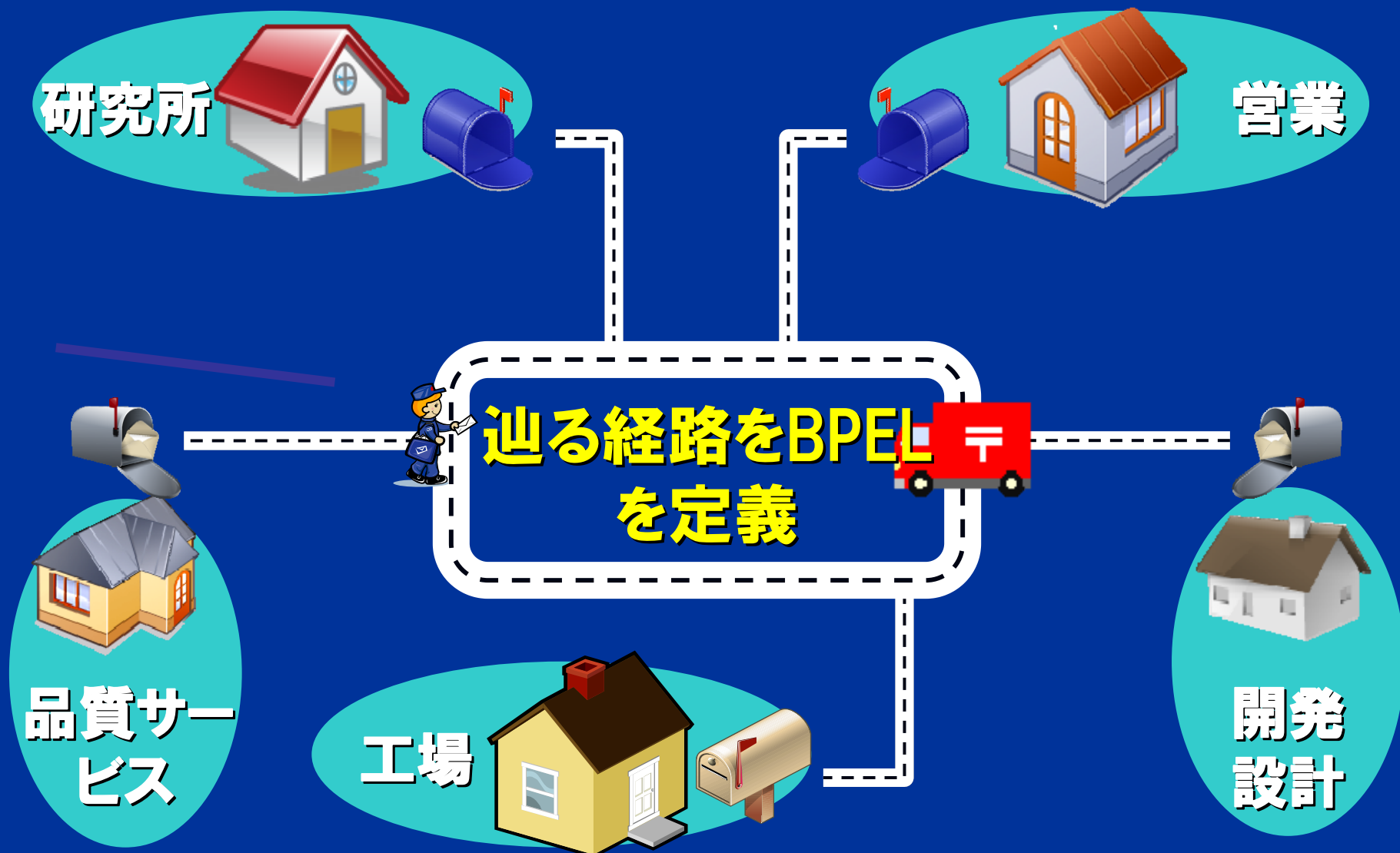
SOA Platform

途中にF/Wがあっても大丈夫

品質
サービス

製造

部門毎の段階的展開が可能になる



パッケージをSOA対応するには分からないことばかり・・・



様々なリスク要素

企画	SOAで実現することのメリット
設計	サービス化する機能の粒度
開発	要求機能の実現方法
検証	構成管理 / モジュール管理のやり方

Cosminexusなら一緒に相談しながら開発できる
(手厚いサポート、要望への対応)